

(様式 2)

### 女性就農環境改善計画

実施主体名	株式会社浅井農園	
取組	(1) 女性が働きやすい環境整備に向けた簡易な改修やリース等による施設等の確保	
構成員数	約 100 名 (うち女性の人数 85 名)	令和 4 年 5 月現在

#### 1 事業実施方針

<p><b>【当社概要と現況について】</b> 明治 40 年 (1907 年) の創業よりサツキツツジの生産を開始。2009 年に、五代目社長である現代表が会社を引き継ぎ第二創業によって事業を転換。ミニトマトの生産を開始し、オランダ式・スペイン式の最先端技術を取り入れたミニトマトの栽培を開始し、大手企業と合弁会社を設立するなど徐々に事業規模の拡大を行ってきた。 2019 年には、歴史ある植木の技術が注目され、外資系大手キウイ販売会社と提携しキウイ苗・果実の生産にも着手。今後は果樹生産に力を入れていく方針。 従業員のうち、7~8 割 (約 100 名) を占めるのがパート社員 (以下、クルー) の女性であり、年代も 20~40 台の子育て世代の女性が活躍してくれている。</p> <p><b>【地域の女性や女性農業者の現状】</b> 2020 年の農林業センサス統計データによると常時雇用されている女性農業者の数は全国で約半数 (46.8%) を占め、三重県でも 43.1% と農業の現場における担い手として重要な役割を果たしている。 一方で常時雇用されている女性農業者は 25~54 歳までの子育て世代で全体の約 15% と少なく、65 歳以上の高齢者が全体の 84% を占める状況となっている他、女性農業者の数は 2010 年以降 5 年間で約 58 万人減少するなど女性農業者の獲得に向けた改善活動が大きな課題となっている。 農業はキツイ・汚い・危険というイメージが根強く、ある程度設備が整った当社の施設園芸施設においても人員の確保は重大な課題である。椋本農場 (キウイ苗圃場) やキウイ園地等の露地栽培拠点ではより困難な状況となっており休憩所や更衣室・ロッカーの設置など女性にとっても働きやすい環境づくりのために日々試行錯誤している。 ※2010、2015、2020 農林業センサス参照</p> <p><b>【事業の背景・目的・方針】</b> 当社は 2019 年の第二創業以来、多くの女性農業者たちの協力により規模を拡大し新たな雇用の創出を行ってきた。トマトの栽培施設においては腰の位置で作業できるように設計するなど建設計画の中で女性にとって働きやすい環境を整備してきたが、創業時の椋本農場 (トマトの栽培を始め今ではキウイの育苗をしている当社の原点となる農場) では未だ環境整備がなされておらず、休憩室の設置や更衣室、ロッカーの整備等、出来るところから取り組んでいるもののトイレについては仮設トイレ 1 台の設置に留まっている。 このような状況のなか、2021 年 7 月に椋本農場の女性クルー 6 人全員に対して個別に面談聞き取り調査した結果、トイレに関する衛生面での懸念や水洗トイレ・男女別トイレ設置の要望が最も多く、新たに整備することを検討したものの当該事業部においてはキウイ園地の開拓等、新規事業への投資等にともない財政的な余裕がなく断念した経緯がある。</p>
---

今後、果樹事業に力を入れていくうえで、女性農業者の協力は必要不可欠であり、露地や遠隔地にある園地についても女性にとって働きやすい環境づくりの整備が重要であるため、本事業での取り組み内容を優良モデルとし今後開発予定の果樹園地での環境整備に活かすだけでなく社会への発信も行い、農業に対するマイナスイメージの払拭に努めることで日本の農業界全体における女性農業者数の底上げに寄与したい。

#### 【具体的な取組内容】

現在、当社が棕本農場で抱える問題点としては、

- ① 仮設トイレしかなく、老朽化していて衛生面が欠如している
- ② 女性の周期的な事情により、男女別のトイレがないため使いづらい
- ③ トイレが男女共同であるため、使用中の際は配慮が必要

今後棕本農場を中心に果樹生産事業を拡大していくためには女性就労者の確保が不可欠であり、よって女性に働きやすい環境を構築しアピールしていく必要がある。

そのため、以下の内容について本事業を活用して実施したい。

「男女別の水洗トイレを新規に設置することで、衛生面・安心面の不安を解消する」

#### 【事業の継続性】

今回の取組みについて設備の満足度などを定期的に追跡調査して聞き取り調査する。

また、定期的な追跡調査の場を有効活用し、その他の意見についても吸い上げを行い出来るところから改善、女性でも働きやすく活躍できる職場にすることでさらなる女性農業者の参入を促し、結果的に女性が中心となってさらなる環境改善の構築に繋がっていくという好循環を生むことが出来る。

#### 【事業の広域性】

今回の事業では6名の女性全員が主体的に関与し施設を利用する。また、今後果樹苗の生産規模を拡大予定であるため、令和5年度中に追加で女性クルー4名を新たに雇用予定である。

#### 【地域への波及効果】

本事業を実施することにより、施設園芸だけでなく、露地等の園地においても男女別の水洗トイレの設置を基本とし、今後視察等に対応する際や各種セミナーやイベントで登壇する際は本事業による取り組みについても紹介することで全国に波及させていく。

#### 【具体的な目標】

(定量目標)

- ① 本事業を実施後、棕本農場の女性農業者に対して、女性が働きやすい職場としての設備満足度調査を行い8割の満足度を目指す。
- ② 女性がより働きやすい職場をつくり家庭を優先しながら働ける仕組みづくりを構築し令和5年度の事業規模拡大時にはクルー4名を雇用していく。  
5年後までにさらなる園地開拓の際に追加で20~30名の女性クルーを雇用し、地域雇用の拡大や農業の発展に貢献することを目標に本事業に取り組む。

(定性目標)

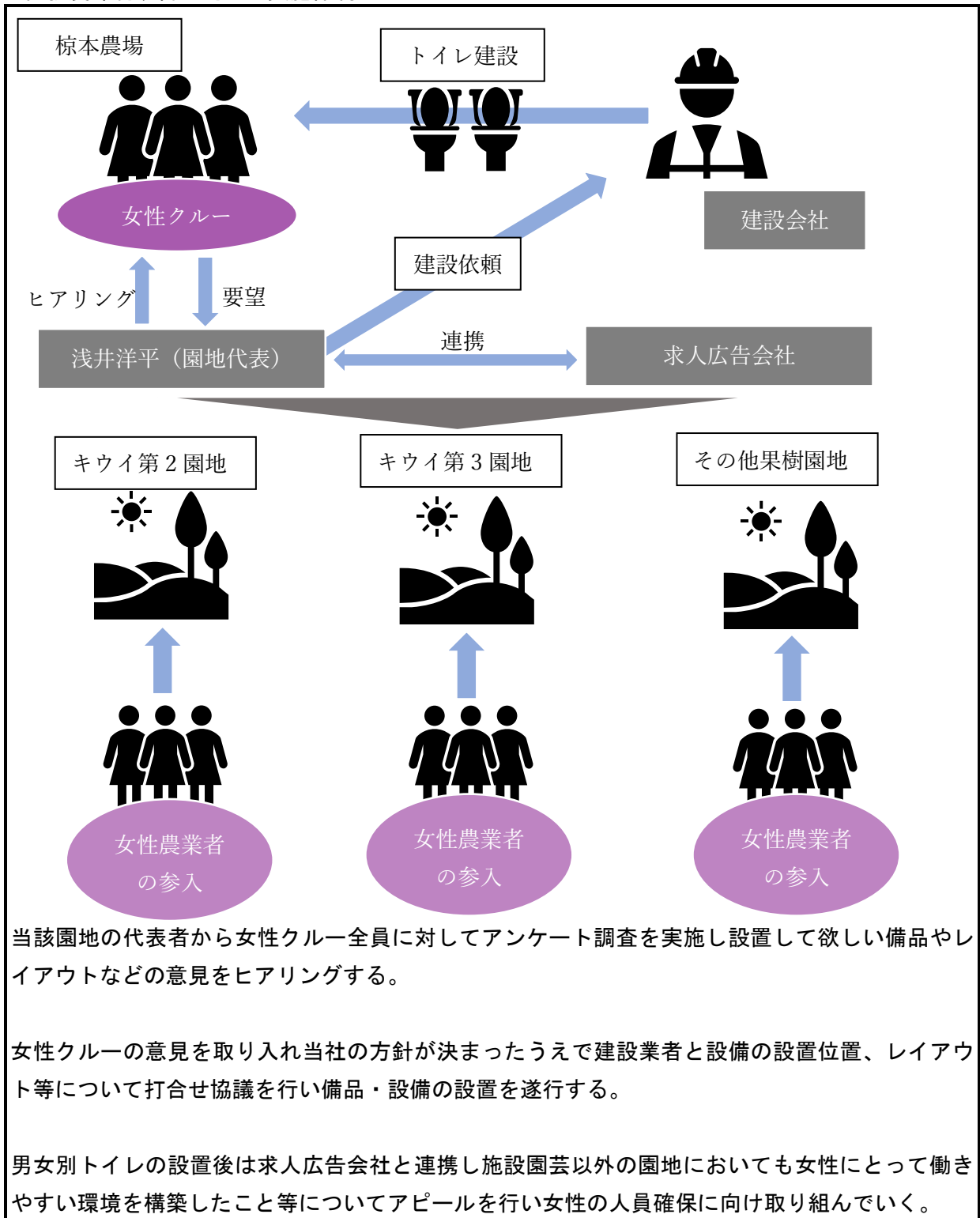
- ① 女性が働きやすい環境を構築するとともに、子供が急な体調不良の時や育児・介護の際の時も

休みやすいような仕組みづくりを行う。

②地域の模範企業として取り組み内容やノウハウを他地域、他産地、他の生産者にも発信し農業のイメージ向上を行う。

(注) 具体的に記載してください。

## 2 女性就農環境改善に向けた実施体制



(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(2)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレキシブル社員制度の導入 従業員のうち、7~8割を占めるのがパート社員の女性である。弊社では昨年「フレキシブル社員制度」を導入し、子育てや介護などで定時勤務が難しい社員やパートの方々もキャリアを途切れさせることなく働き続けることができるよう整備。現在は二人の女性パート社員がこの制度に応募しフレキシブル社員となり、より幅広い仕事を任されて活躍している。</li> <li>・柔軟なシフト組み パート社員の多くは家庭の都合から扶養内での勤務を希望しており、個々の家庭を優先できる労働環境を整えるため一人ひとりのライフステージに合わせた勤務時間を設定。11種類のシフトを用意している。</li> <li>・新規就農者の研修・体験受入 新規就農者に対しては入社時のミスマッチを防ぐため当社への交通費は一部もしくは全額支給のうえ実際の業務を本社または圃場にて体験してもらっている。</li> </ul> <p>(今後の取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新規就農者の研修・体験受入の継続</li> <li>2) 女性が働きやすい環境整備</li> </ol>	<p>1) 2022年度(2月時点) 男2名/女性1名</p> <p>1) 年間4人(目標) 2) 男女別の水洗トイレを新規に設置</p>	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前項(1)女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組に記載の内容については呼び込みだけでなく定着も目的としている。</li> <li>・働きやすい施設設計 トマトの栽培施設においては、全ての作業を腰の位置で行えるよう設計されており女性にとってより働きやすい環境を構築している。 選果場は品質管理の観点から温度が低く設定されているため、クルーの足元にマットを敷き暖かさを保っている他、重たい荷物を長時間持たなくて済むように、クルーの意見を取り入れながら動線を変更するなど、働きやすい環境づくりに努めている。 その他、更衣室のドアを開けたときに中が見えないようにパーテーションを設けて二重構造にするなど、細かな点にも配慮している。</li> <li>・定例会の開催 週に1回定例会を開催し、意見交換を行っている。</li> </ul> <p>(今後の取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 定例会の継続</li> <li>2) 現場作業の負担軽減</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 週1での実施</li> <li>2) 定例会でヒアリングした改善点を5つ解決し現場作業の負担を軽減する</li> </ol>	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 女性リーダーによる管理運営</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 椋本農場のクルーから女性リーダーを1名選出</li> </ol>	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 4 女性就農環境改善事業を活用した取組の計画内容

##### (1) 働きやすい環境整備への支援

###### 【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
3月	棕本農場の代表者より女性クルー全6名に対して男女別トイレの設置にかかるアンケート調査を実施	
4月	棕本農場の代表者および建設会社にてクルーの意見をもとに男女別トイレの建設計画を実施	
5~7月	建設会社にて男女別トイレの建設を実施	
8月	職業安定所や求人広告に整備や取り組み内容について紹介し新たな女性農業者の獲得に向け取り組む  男女別の水洗トイレを整備することで、露地や遠隔地の園地においても農業の汚いイメージを払拭し、求人の際にアピールしていくことで、新たな女性農業者の参入を促すことに寄与する。	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	4人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者	人、雇用就農者
	人、アルバイト・ボランティア等 4人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の女性とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。

以上